別紙3　地質調査結果

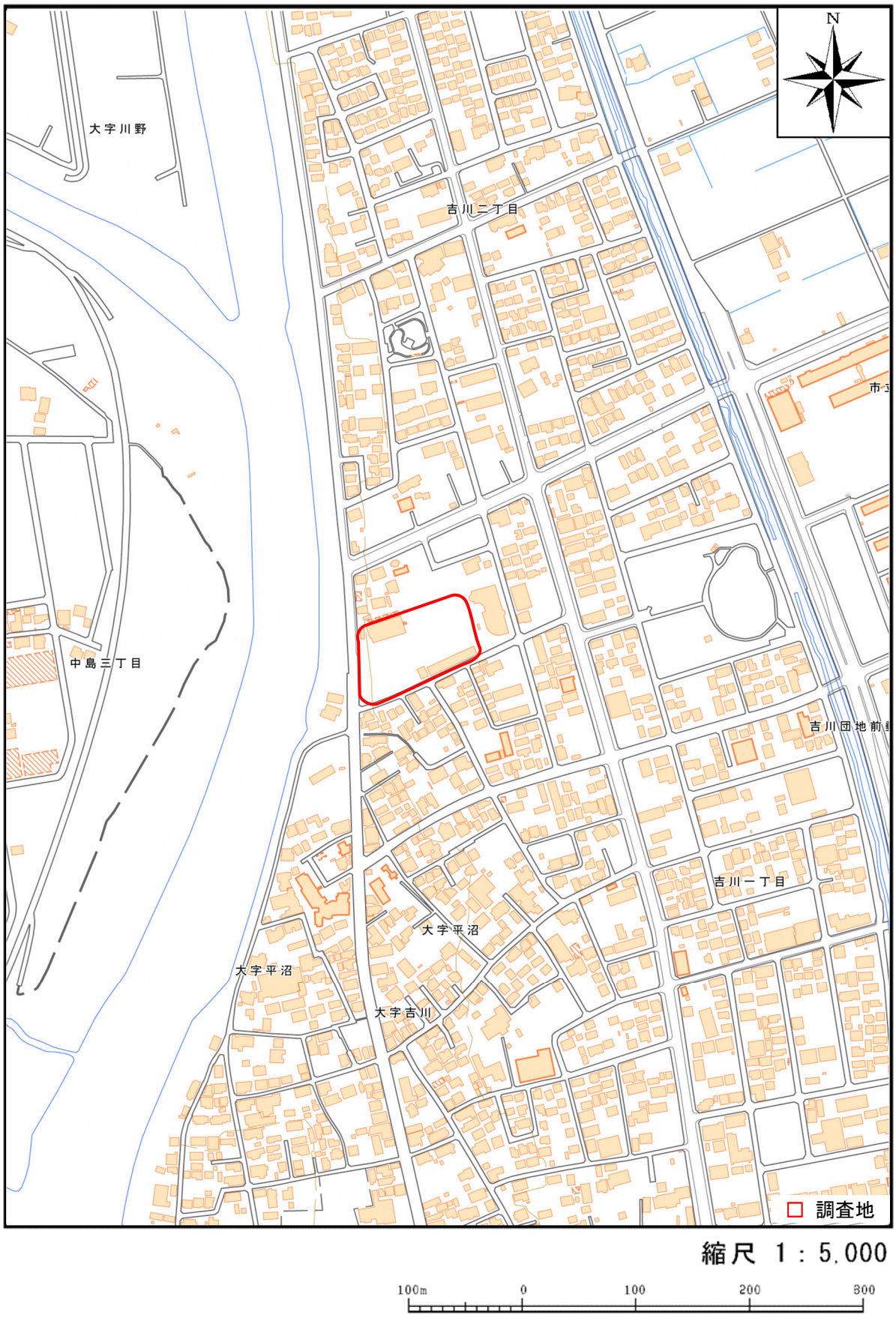


図 1.2　案　内　図　2

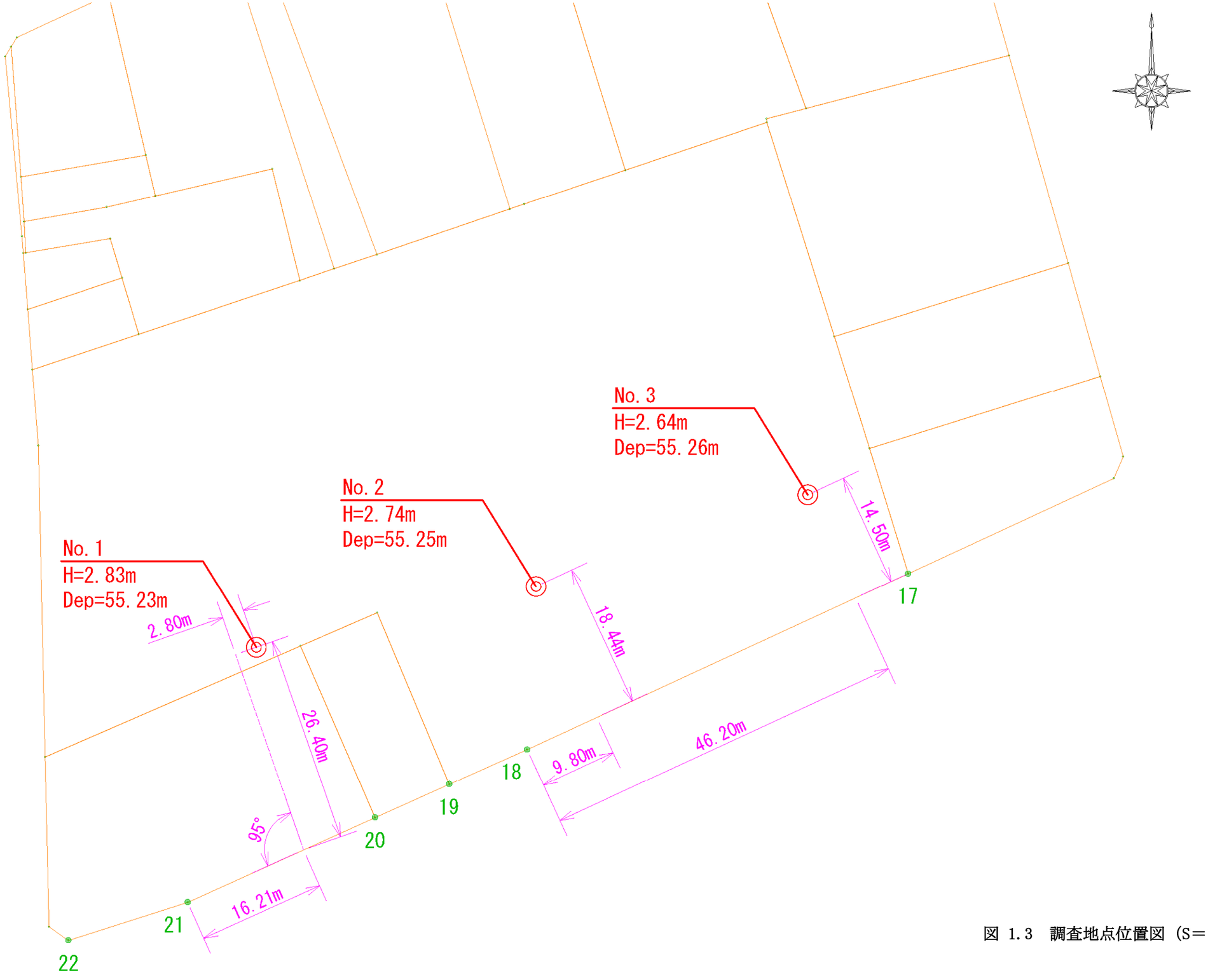


図 1.3　調査地点位置図（S＝1/500）

＜ 調 査 結 果 資 料 ＞

・ボーリング柱状図

・地層想定断面図

ボ ー リ ン グ 柱 状 図

砂地盤の相対密度の表現法

相対密度	記号	*N*値	現場判別方法
非常に緩い	rd1	0～4	鉄筋は容易に手で貫入
緩い	rd2	4～10	ショベル（スコップ）で掘削可能
中ぐらい	rd3	10～30	鉄筋を 5 ポンドハンマで打込み容易
密な	rd4	30～50	同上、30cm 程度貫入
非常に密な	rd5	50 以上	同上、5～6cm 貫入，掘削につるはし必要，打込み時金属音

注）鉄筋はφ13mm

細粒土の相対稠度の表現法

相対稠度	記号	*N*値	現場判別方法
非常に軟らかい	rc1	0～2	親指を 25mm 以上押し込める
軟らかい	rc2	2～4	親指を 25mm ぐらい押し込める
中位の	rc3	4～8	親指を 6mm ぐらい押し込める
硬い	rc4	8～15	親指を押し込めないが、親指の爪はたやすく入る
非常に硬い	rc5	15～30	親指の爪も入らない
固結した	rc5	30 以上	－

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　旧庁舎跡地地質調査業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	No.1	**調査位置**	吉川市吉川２丁目１番地１			**北緯**	35° 53′ 26.71″
発注機関	吉川市			**調査期間**	2024年　6月 17日 ～ 2024年　6月 25日	**東経**	139° 50′ 27.44″
調査業者名	株式会社　東光土質 **電話** 048-791-7013	**技術管理者**	玉川　智 地質調査技士 登録番号	**現場代理者**	松林伸一 地質調査技士 登録番号 第10893号	**コア鑑定者**	松林伸一 地質調査技士 登録番号 第9618号	**ボーリング責任者**	松林伸一 地質調査技士 登録番号 第9618号
孔口標高	H= 2.83m	**角度**	180°（上下）90° 0°	**方位**	北 0° 90°東 180°南 270°西	**地盤勾配**	水平0° 鉛直90° 0°	**試錐機**	(株)ワイビーエム社製 YBM-05		
総削孔長	55.23m							**エンジン**	ヤンマー(株)社製 NFAD-8	**ポンプ**	(株)扶桑工業社製 V6-D

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1	1.73	1.10		埋土		黒～暗青灰				地表部舗装アスファルト6cm、砕石24cm GL-0.3m以深粘土主体に礫を混入する。	
	0.93	1.90		砂質シルト		灰褐		rc1		含水中位、試料不均質、 色調は黒褐に黄褐が混じる。	
2											
3	-0.47	3.30		粘土		黒褐～暗青灰		rc3～rc2		含水中位、試料不均質、 所々凝灰質でGL-2.7m以深暗青灰で含水やや多い。	06/17 2.40
4											
5				シルト混じり細砂		黄緑灰／暗灰		rd2		含水やや多い、粒径不均一。 シルト混ブロック状に混入。 微量の腐植ポケット状に混入。 GL-4m付近腐植木片混入。	
6											
7											
8	-5.17	8.00		細砂		暗灰		rd3		含水中位、粒径細かい、 シルトの混入は少量である。	
9	-6.87	9.70								GL-9m付近、シルトは砂質でブロック状に混入。	
10				砂質シルト		暗灰		rc1～rc2		含水多い。試料不均質。 砂は細砂で不規則に混入。 下部、砂分多くなる。	
11	-9.07	11.90									
12				シルト質細砂		暗灰		rd2		含水多い、粒径不均一。 微量の貝殻砕片が散在する。 シルトは互層、薄層状に混入。	
13	-10.77	13.60									
14				砂混じりシルト		暗灰		rc1～rc3		含水やや多い、試料不均質。 砂は細砂や微細な砂でシーム状、レンズ状に混入。	
15	-12.97	15.80									
16	-13.87	16.70		シルト質細砂		暗灰		rd2		含水多い、粒径不均一。 貝殻砕片を微量混入。 シルトは薄層状、互層状に混入。	
17				砂質シルト		暗灰		rc2～rc3	完新世	含水多い、試料不均質。 砂は細砂や微細な砂で薄層状、シーム状、レンズ状に混入。 極微量の貝殻砕片混入。	
18											
19											
20										GL-18～20m付近は砂分若干減る。	
21	-18.77	21.60								GL-21m付近は所々薄層状に砂分多い。	
22	-19.97	22.80		中砂		暗灰		rd3		含水やや多い。粒径不均一。 細砂混入。シルトを所々混入。	
23				粘土質シルト		暗灰		rc1		含水多い、試料不均質。 微細な砂を不規則に少量混入。 微量の貝殻砕片点在。	
24											
25											
26											
27	-24.87	27.70								GL-27m付近、レンズ状に微細な砂混入。	
28				砂混じりシルト		暗灰		rc2		含水やや多い。試料不均質。 微細な砂をシーム状、レンズ状に混入。	
29											
30	-28.17	31.00									
31				粘土混じりシルト		暗灰		rc2～rc3		含水やや多い、試料不均質。 腐植物、少量の微細な砂混入。	
32											
33											
34										GL-36m付近、微細な砂を不規則に混入。	
35											
36										GL-37m付近、微細な砂をレンズ状に混入。	
37	-35.27	38.10		砂礫		暗灰		rd4		含水やや多い、亜角礫主体。 平均礫φ5～10mm程度。粘土分混じる。	
38	-35.97	38.80									
39	-36.47	39.30		礫混じり粘土		暗灰		rc4		含水中位。礫はφ5mm程度の亜角礫。	
40	-36.97	39.80		砂礫		暗灰		rd4		含水やや多い。亜角礫主体。平均礫φ5～10mm。	
41				シルト混じり細砂		暗緑灰／暗灰		rd5～rd4		含水少ない、粒径不均一。 シルトは不規則に混入。	
42										GL-42m付近より色調暗灰に変わる。	
43											
44										GL-44m付近、含水中位となる。	
45	-42.47	45.30									
46				砂混じりシルト		暗灰		rc5	更新世	含水やや少ない。試料不均質。 微細な砂を不規則に混入。 上部所々薄層に砂多い。	
47											
48											
49											
50	-47.27	50.10									
51	-48.87	51.70		シルト混じり細砂		暗灰		rd5		含水やや少ない。粒径不均一。 微細な砂を混入。 所々シルトを薄層に混入。 少量の腐植物点在。	
52				細砂		暗灰		rd5		含水やや少ない。粒径不均一。 微細な砂混入。 所々少量のシルトを混入。	
53											
54											
55	-52.40	55.23									

標準貫入試験 深度－N値図	N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
0 10 20 30 40 50		1.15											
	1.60	2.15		1/150	1/160	2/310							
	2.45	3.15	2	2	2	6/300							
	3.45	4.15	1	2	3	6/300							
	4.45	5.15	2	3	3	8/300							
	5.45	6.15	2	2	3	7/300							
	6.45	7.15	3	2	1	6/300							
	7.45	8.15	3	3	3	9/300							
	8.45	9.15	5	6	7	18/300							6/17
	9.45	10.15	4	6	4	14/300							
	10.48	11.15	1/200	1/130	1/330	2/330							
	11.46	12.15	1/110	1	1	3/310							
	12.45	13.15	2	2	2	6/300							
	13.45	14.15	1	2	2	5/300							
	14.48	15.15	1/200	1/130	1/330	2/330							
	15.45	16.15	1	1	2	4/300							
	16.45	17.15	1	2	2	5/300							
	17.47	18.15	1/90	1/80	2/170	4/340							
	18.47	19.15	1/140	1	1/80	3/320							
	19.50	20.15	1/150	1	2	4/350							
	20.43	21.15	1	1	2	4/300							
	21.45	22.15	1	2	3	6/300							
	22.45	23.60	4	6	9	19/300							
	23.60	24.60	0/600	0/600	0/600	0/600	600						
	24.60	25.60	0/600	0/600	0/600	0/600	600						6/19
	25.60	26.60	0/600	0/600	0/600	0/600	600						
	26.50	27.15	0/590	0/500	0/500	0/500	500						
	27.60	28.15	1/450	1/450									
	28.47	29.15	1/130	1/90	2/130	4/350							
	29.50	30.15	1/120	1/120	2/130	4/370							
	30.48	31.15	1/120	1/90	2/120	4/330							
	31.45	32.15	1	1	1	3/300							
	32.46	33.15	1/120	1/90	1/90	3/300							
	33.50	34.15	1	1/90	2/160	4/350							
	34.46	35.15	1	1/85	2/130	4/310							
	35.45	36.15	1	1	2	4/300							
	36.45	37.15	1	2	2	5/300							
	37.45	38.15	2	2	2	6/300							
	38.45	39.15	12	12	14	38/300							
	39.45	40.15	3	4	10	17/300							6/20
	40.43	41.15	12	18	20/80	50/280	280						
	41.30	42.15	26	24/50		50/150	150						
	42.25	43.15	50			50/100	100						
	43.31	44.15	24	26/60		50/160	160						
	44.39	45.15	18	20	12/40	50/240	240						6/21
	45.45	46.15	13	10	8	31/300							
	46.45	47.15	6	7	9	22/300							
	47.45	48.15	6	6	7	19/300							
	48.45	49.15	4	6	7	17/300							
	49.45	50.15	6	8	11	25/300							
	50.26	51.15	40	10/10		50/110	110						
	51.25	52.15	37	13/30		50/130	130						
	52.23	53.15	50			50/100	100						
	53.27	54.15	40	10/20		50/120	120						
	54.25	55.15	50			50/100	100						
	55.23	55.23	50/80			50/80	80						6/24

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　旧庁舎跡地地質調査業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	No.2	調査位置	吉川市吉川２丁目１番地１	北緯	35° 53′ 26.96″
発注機関	吉川市	調査期間	2024年　6月 25日 ～ 2024年　7月 17日	東経	139° 50′ 28.86″
調査業者名	株式会社　東光土質 電話 048-791-7013	技術管理者	玉川　智 地質調査技士 登録番号 第10893号	現場責任者	松林伸一 地質調査技士 登録番号 第9618号
				コア鑑定者	松林伸一 地質調査技士 登録番号 第9618号
				ボーリング責任者	松林伸一 地質調査技士 登録番号 第9618号
孔口標高	H= 2.74m	角度	180°（上下）90° 0° 0°	方位	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	55.25m	地盤勾配	水平0° 鉛直90° 0°	使用機種	
試錐機	(株)ワイビーエム社製 YBM-05				
エンジン	ヤンマー(株)社製 NFAD-8	ポンプ	(株)扶桑工業社製 V6-D		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1	1.64	1.10		埋土		黒褐				地表部舗装アスファルト5cm、砂石15cm、砂10cmで、GL-0.3m以深シルト主体に礫、ガラを混入する。	
	0.84	1.90		砂質シルト		暗灰		rc2		含水中位。砂は細砂で不規則に混入。	06/29 1.75
2	0.04	2.70		粘土		灰		rc3		含水やや多い。腐植物微量混じり、若干有機質。 色調灰に暗灰黄混じる。	
3				砂質シルト		暗灰		rc2～rc4		含水やや多い。試料不均質。 砂は細砂で不規則に混入。 少量の腐植物混入。	
4											
5	-2.86	5.60								GL-5m付近、中砂多くなる。	
6				シルト混じり細砂		暗灰		rd3		含水中位。粒径不均一。 シルト注不規則に混入。 GL-6m付近はややシルト分多い。	
7											
8										GL-8m付近、少量の貝殻砕片が点在する。	
9	-6.16	8.90									
10				砂質シルト		暗緑灰～暗灰		rc1～rc2		含水やや多い。試料不均質。 砂は細砂、微細な砂である。 GL-9m付近、少量の貝殻砕片が点在する。	
11										GL-11m付近、砂分の混入は少なくなる。	
12											
13										GL-13m付近より細砂を所々薄層状に混入。	
14	-12.06	14.80									
15				砂混じりシルト		暗灰		rc1～rc2		含水やや多い。試料不均質。 砂は細砂でレンズ状、シーム状に混入。	
16											
17	-14.26	17.00							完新世		
18				砂質シルト		暗灰		rc3		含水やや多い。試料不均質。 砂は細砂、中砂で不規則に混入。	
19										GL-19m付近腐植物点在。	
20										GL-20m付近、細砂を薄層状に混入。	
21	-18.36	21.10									
22				シルト混じり中砂		暗灰	rd3			含水やや多い。粒径不均一。 シルトは不規則に混入。極小の貝殻砕片点在。	
23	-19.96	22.70									
24				砂混じりシルト		暗灰		rc1		含水やや多い。試料不均質。 砂は細砂で不規則に混入。 微量の貝殻片点在。	
25	-22.26	25.00									
26				粘土質シルト		暗灰		rc1		含水多い。試料不均質。 微細な砂および貝殻片点在。	
27	-23.96	26.70									
28				砂混じりシルト		暗灰		rc2		含水多い。試料不均質。 砂は微細な砂でポケット状および不規則に混入。 微量の貝殻片点在。	
29											
30											
31	-28.16	30.90									
32				粘土質シルト		暗灰		rc2～rc3		含水やや多い。試料不均質。 微細な砂を少量混入。	
33										GL-32m付近、レンズ状に暗緑灰となる。 GL-33m以深、試料均質となる。	
34	-32.06	34.80									
35				細砂		暗緑灰		rd4		含水中位。粒径不均一。 少量のシルトを所々レンズ状に混入。	
36										GL-35.60～-35.90m付近、礫混入。	
37	-34.36	37.10									
38				シルト混じり細砂		暗緑灰		rd4		含水中位。粒径不均一。 暗青灰色のシルトを不規則に混入。中砂混入。	
39	-36.16	38.90		貝殻混じり細砂		暗灰		rd5		含水中位。粒径不均一。 シルト混じる。 大粒の二枚貝の砕片を多く混じる。	
40	-36.96	39.70		粘土混じりシルト		暗青灰		rc5～rc4		含水中位。試料不均質。	
41	-39.11	41.85								GL-41m付近より色調暗紫灰となる。	
42				シルト混じり細砂		暗灰		rd4		含水中位。シルトは薄層状に混入。	
43	-39.96	42.70		細砂		暗灰		rd5		含水中位。粒径不均一。	
44	-41.16	43.90							更新世		
45				砂混じりシルト		暗灰		rc5		含水中位。試料不均質。 微細な砂を不規則に混入。 少量の腐植物点在。	
46										GL-46～-47m付近、砂分少なくなる。	
47											
48											
49	-46.91	49.65									
50				シルト混じり細砂		暗灰		rd5		含水中位。粒径不均一。 シルトは薄層に混入。	
51	-48.86	51.60									
52				細砂		暗灰		rd5		含水中位。粒径不均一。 微細な砂を混入。 上部少量にシルトをシーム状に混入。	
53											
54										GL-54m以深粒径若干細かくなる。	
55	-52.51	55.25									

標準貫入試験

深度－N値図

深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	N値	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1.15	1	1	1	3			
1.47	140		80	320			
2.15	2	2	2	6			
2.45	120		80	300			
3.15	1	2	2	4			
3.48	80	150		330			
4.15	2	2	2	6			
4.45				300			
5.15	3	3	2	8			
5.45				300			
6.15	3	4	5	12			
6.45				300			
7.15	4	4	6	14			
7.45				300			
8.15	4	4	5	13			
8.45				300			
9.15	1	1	2	4			
9.46		110		310			
10.15	1	1	1	3			
10.48	120	120	90	330			
11.15		1	1	2			
11.50		200	150	350			
12.15	1	1	1	3			
12.48	120	110		330			
13.15	1	2	1	4			
13.47	90	140	90	320			
14.15	1	1	1	3			
14.48	120		110	330			
15.00		0	1	1			
15.46		150	510	460			
16.15	1	1	1	3			
16.45				300			
17.15	1	1	3	5			
17.48	90	90	120	300			
18.15	2	2	2	6			
18.45	120		80	300			
19.15	2	2	3	7			
19.45				300			
20.15	2	3	2	7			
20.43				300			
21.15	4	4	5	13			
21.45				300			
22.15	4	5	6	15			
22.45				300			
23.15		1	1	2			
23.47		200	120	320			
24.15			1	1			
24.60			450	450			
25.00							
25.60			0	0			
26.15			600	600			
26.50			1	1			
27.15		1	1	2			
27.45		160	140	300			
28.15	1	1	1	3			
28.50	140	120	90	350			
29.15	1	1	1	3			
29.47	130	120	70	320			
30.15	1	1	1	3			
30.50	130	120		350			
31.15		1	1	2			
31.46		170	140	310			
32.15	1	1	1	3			
32.47	110	110		320			
33.15	1	1	2	4			
33.48	90	90	150	330			
34.15	2	2	2	6			
34.45				300			
35.15	10	12	14	36			
35.45				300			
36.15	12	14	16	42			
36.45				300			
37.15	8	15	16	39			
37.45				300			
38.15	11	13	17	41			
38.45				300			
39.15	37	13/20		50/120	120	120	
39.27							
40.15	5	6	7	18			
40.45				300			
41.15	4	4	5	13			
41.45				300			
42.15	12	15	18	45			
42.45				300			
43.15	29	21/70		50/170	170	170	
43.32							
44.15	7	8	9	24			
44.45				300			
45.15	6	7	7	20			
45.45				300			
46.15	6	6	7	19			
46.45				300			
47.15	6	7	8	21			
47.45				300			
48.15	7	8	8	23			
48.45				300			
49.15	8	9	9	26			
49.45				300			
50.15	21	29		50/200	200	200	
50.35							
51.15	28	22/50		50/150	150	150	
51.30							
52.15	42	8/10		50/110	110	110	
52.26							
53.15	39	11/20		50/120	120	120	
53.27							
54.15	50/70			50/70	70	70	
54.22							
55.15	50			50/100	100	100	
55.25							

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				6/26
				6/27
				7/10
				7/11
				7/12

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　旧庁舎跡地地質調査業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	No.3	調査位置	吉川市吉川２丁目１番地１	北緯	35° 53′ 27.34″
発注機関	吉川市	調査期間	2024年　7月 16日 ～ 2024年　7月 25日	東経	139° 50′ 30.24″
調査業者名	株式会社　東光土質 電話 048-791-7013	技術管理者	玉川　智 地質調査技士 登録番号 第10893号	現場責任者	松林伸一 地質調査技士 登録番号 第9618号
		コア鑑定者	松林伸一 地質調査技士 登録番号 第9618号	ボーリング責任者	松林伸一 地質調査技士 登録番号 第9618号
孔口標高	H= 2.64m	角度	180°（上下）　90°　0°	方位	北 0°　東 90°　南 180°　西 270°
総削孔長	55.26m	地盤勾配	水平 0°　鉛直 90°　0°	使用機種	試錐機　㈱ﾜｲﾋﾞｰｴﾑ社製 YBM-05 エンジン　ヤンマー㈱社製 NFAD-8　　ポンプ　㈱扶桑工業社製 V6-D

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1	0.84	1.80		埋土		暗褐		rc3		地表部舗装アスファルト6cm、砕石9cm GL-0.15m以深凝灰質シルト主体に礫を混入する。	07/17 1.45
2	-0.16	2.80		粘土		黒褐		rc3		含水中位。 GL-2.6～-2.8m付近腐植土。	
3				シルト混じり細砂		暗灰	rd3			含水やや多い、粒径不均一。 シルトは薄層状で、腐植物を混入する。	
4	-2.26	4.90									
5				中砂		暗灰	rd4～rd3			含水中位。粒径不均一、細砂混入。	
6	-3.96	6.60								GL-6m付近薄層状にシルト混入する。	
7				シルト混じり細砂		暗灰	rd2～rd3			含水やや多い。粒径不均一。 シルトは薄層状および不規則に混入。 極少量の貝殻砕片が点在する。	
8	-6.16	8.80									
9				砂質シルト		暗灰	rc2～rc1			含水やや多い。試料不均質。 細砂、微細な砂を不規則に混入。 極少量の貝殻砕片混入。	
10											
11											
12											
13											
14	-12.06	14.70									
15				砂混じりシルト		暗灰	rc1～rc2～rc1		完新世	含水やや多い。試料不均質。 砂は細砂でレンズ状に混入。 極少量の貝殻砕片点在。	
16											
17											
18										GL-17m付近若干粒径粗い。	
19										GL-19m付近より貝殻砕片無くなり、シルト部分は均質、 砂はシーム状に混入。	
20											
21	-18.36	21.00									
22				粘土質シルト		暗灰	rc1			含水多い、試料不均質。 微細な砂を所々シーム状に混入。 GL-22m以深少量の貝殻片点在。	
23											
24											
25											
26										GL-26m付近、所々微細な砂をシーム状混入。	
27	-24.26	26.90									
28	-26.26	28.90		砂混じりシルト		暗灰	rc2～rc1			含水多い。試料不均質。 砂は細砂、微細な砂でレンズ状や薄層状に混入。	
29				粘土質シルト		暗灰	rc1～rc2			含水やや多い、試料不均質。 微細な砂を不規則に少量混入。	
30											
31										GL-31m付近、所々ポケット状に緑灰色を呈する。	
32											
33	-30.41	33.05									
34	-31.96	34.60		礫混じり中砂		暗灰	rd4			含水やや多い、粒径不均一。 礫は φ 5～10mm程度の亜円、亜角礫。	
35	-32.96	35.60		砂礫		暗灰	rd3			含水多い、亜角礫主体。 平均礫 φ 5mm程度、最大礫 φ 15mm程度。 若干粘土分混入。	
36	-34.06	36.70		細砂		緑青灰	rd4			含水中位、粒径不均一。 φ 5mm程度の礫点在。	
37				シルト混じり細砂		暗青灰／暗灰	rd5			含水中位、粒径不均一。 シルトは薄層～互層状で固結する。 GL-37m付近貝殻砕片密集する。	
38										GL-38m付近貝殻片少ない。	
39	-37.16	39.80								GL-39m付近貝殻砕片全体に混じる。	
40				粘土混じりシルト		暗灰	rc5			含水やや少ない。試料不均質。所々固結する。 微細な砂を少量不規則に混入。	
41	-39.46	42.10									
42				シルト質細砂		暗灰	rd5～rd4		更新世	含水やや少ない。シルトを薄層状および不規則に混入。	
43											
44											
45	-42.96	45.60									
46				粘土混じりシルト		明青灰	rc5			含水やや少ない。試料やや不均質。 微細な砂を不規則に少量混入。	
47	-45.16	47.80									
48				砂混じりシルト		暗青灰	rc5			含水少ない。試料不均質。 砂は微細で不規則に混入する。	
49	-47.06	49.70									
50				砂質シルト		暗灰	rc5			含水少ない。試料不均質。 全体に固結し、砂は微細で不規則に混入する。	
51	-49.16	51.80									
52				細砂		暗灰	rd5			含水中位、粒径不均一。 所々少量のシルトをシーム状に混入する。 微細な砂を混入する。	
53											
54											
55	-52.62	55.26									

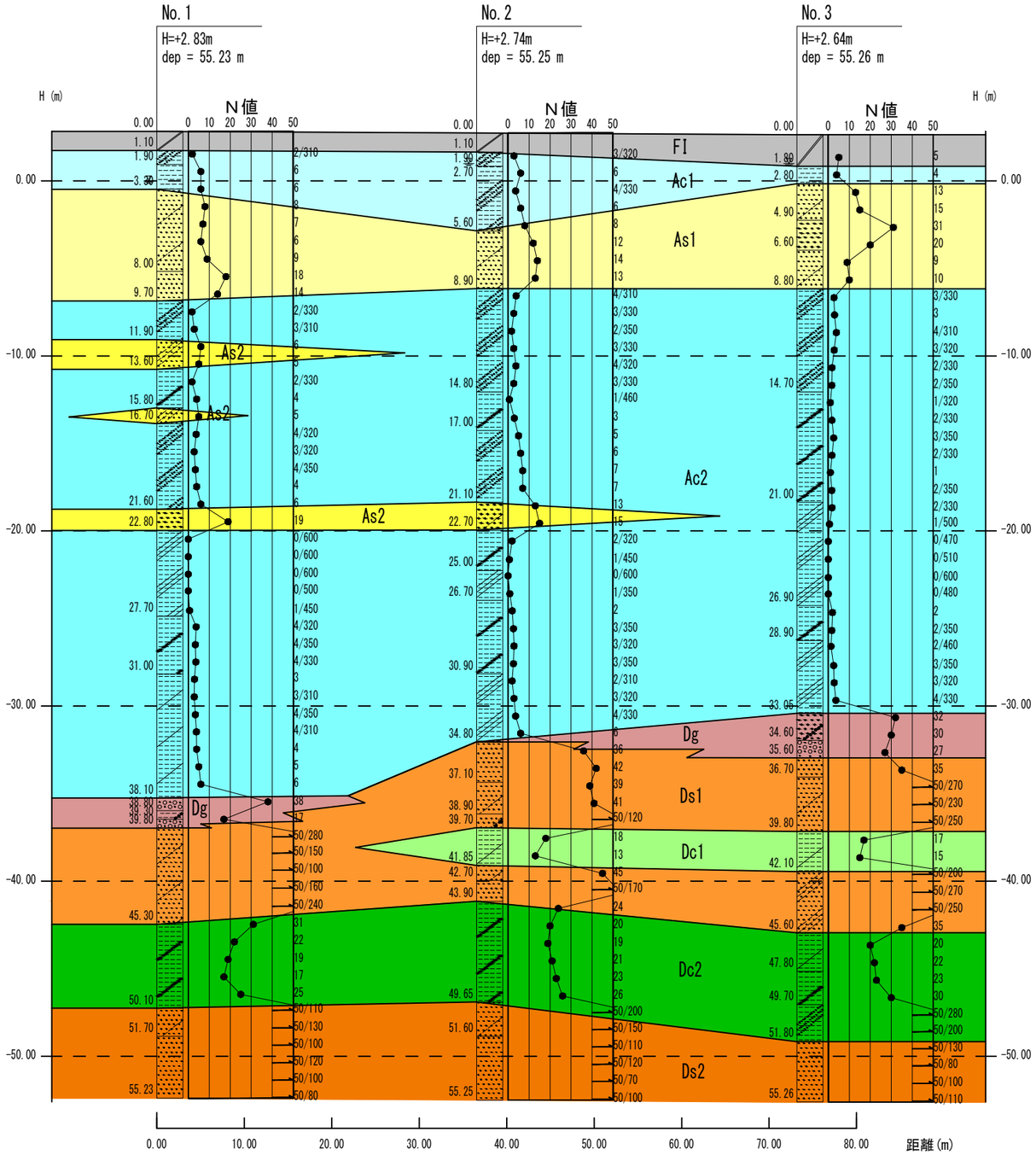
標準貫入試験

深度－N値図

深度 (m)	N値	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1.15		2	1	2	5/300		
1.63							
2.15	1	0/30	1/70	1/90	4/300		
2.63							
3.15	13	4	4	5	13/300		
3.63							
4.15	15	4	5	6	15/300		
4.63							
5.15	31	8	10	13	31/300		
5.63							
6.15	20	6	7	7	20/300		
6.63							
7.15	9	2	3	4	9/300		
7.63							
8.15	10	3	3	4	10/300		
8.63							
9.15	3	1/120	1/110	1	3/330		
9.68							
10.15	3	1/110	1	1/90	3/300		
10.63							
11.15	4	1/120	1/90	2	4/310		
11.96							
12.15	3	1/110	1/110	1	3/320		
12.47							
13.15	2	1/210	1/120	2	2/330		
13.48							
14.15	2	1/200	1/150	2	2/350		
14.50							
15.15	1		1/500	1	1/330		
15.47							
16.15	2	1/190	1/140	2	2/330		
16.48							
17.15	3	1/130	1/120	1	3/350		
17.50							
18.15	2	1/180	1/150	2	2/330		
18.48							
19.15	1		1/300	1	1/300		
19.45							
20.15	2	1/200	1/150	2	2/350		
20.50							
21.15	2	1/230	1	2	2/330		
21.48							
22.00	1		1/500	1	1/500		
22.50							
23.00	0	0/470		0	0/470	470	
23.47							
24.00	0	0/510		0	0/510	510	
24.51							
25.00	0	0/600		0	0/600	600	
25.60							
26.00	0	0/480		0	0/480	480	
26.48							
27.15	2	1/170	1/130	2	2/300		
27.45							
28.15	2	1/170	1/180	2	2/350		
28.50							
29.00	1	0/300	1/90	2	2/460		
29.46							
30.15	3	1/150	1/110	1/90	3/350		
30.50							
31.15	3	1/150	1/90	1/80	3/320		
31.47							
32.15	4	1/120	1/80	2/130	4/330		
32.48							
33.15	32	8	10	14	32/300		
33.45							
34.15	30	7	10	13	30/300		
34.45							
35.15	27	6	9	12	27/300		
35.45							
36.15	35	10	12	13	35/300		
36.48							
37.15	56	14	17	19/70	50/270	270	
37.42							
38.15	65	20	21	9/30	50/230	230	
38.38							
39.15	60	18	20	12/50	50/250	250	
39.40							
40.15	17	5	5	7	17/300		
40.45							
41.15	15	4	5	6	15/300		
41.45							
42.15	75	23	27		50/200	200	
42.33							
43.15	56	15	20	15/70	50/270	270	
43.42							
44.15	60	17	20	13/50	50/250	250	
44.40							
45.15	35	10	12	13	35/300		
45.45							
46.15	20	6	7	7	20/300		
46.48							
47.15	22	7	7	8	22/300		
47.45							
48.15	23	6	8	9	23/300		
48.48							
49.15	30	8	10	12	30/300		
49.48							
50.15	54	12	18	20/80	50/280	280	
50.63							
51.15	75	19	31		50/200	200	
51.33							
52.15	115	35	15/30		50/130	130	
52.38							
53.15	180	50/80			50/80	80	
53.32							
54.15	150	50			50/100	100	
54.35							
55.15	136	41	9/10		50/110	110	
55.26							

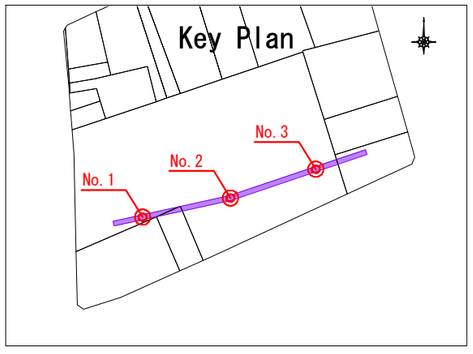
試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					7/17
					7/18
					7/19
					7/22
					7/23

地 層 想 定 断 面 図



地 層 層 序

地質時代		地層名	地層記号	主な土質	層厚 (m)	N値の範囲
完新世	現世	埋土層	FI	アスファルト，砕石 砂，粘土，シルト	1.10 ～ 1.80	5
	Dユニット	沖積第１粘性土層	Ac1	砂質シルト，粘土	1.00 ～ 4.50	1.9 ～ 8
		沖積第１砂質土層	As1	シルト混じり細砂 細砂，中砂	3.30 ～ 6.40	6 ～ 31
	Cユニット	沖積第２粘性土層	Ac2	砂質シルト 砂混じりシルト 粘土質シルト 粘土混じりシルト	24.25 ～ 28.40	0 ～ 7
		沖積第２砂質土層	As2	シルト質細砂，中砂 シルト混じり中砂	0.90 ～ 1.70	5 ～ 19
更新世	段丘堆積物	洪積砂礫層	Dg	砂礫 礫混じり中砂	1.70 ～ 2.55	27 ～ 38
	下総層群（上泉層Km～）	洪積第１砂質土層	Ds1	シルト混り細砂 シルト質細砂 細砂，貝殻混じり細砂	5.50 ～ 10.00	35 ～ 50＜
		洪積第１粘性土層	Dc1	粘土混じりシルト	2.15 ～ 2.30	13 ～ 18
		洪積第２粘性土層	Dc2	砂混じりシルト 粘土混じりシルト 砂質シルト	4.80 ～ 6.20	17 ～ 50＜
		洪積第２砂質土層	Ds2	細砂	3.20 ～ 5.35	50＜



業 務 名	旧庁舎跡地地質調査業務委託
場　　所	吉川市吉川２丁目１番地１
図 面 名	地層想定断面図
縮　　尺	H=1:600，V=1:300 (A3)